

Partner

[パートナー]

Vol.03

2022.JAN

— 各診療科の医師が専門分野を伝える —

・産科部長・

酒井 謙

分娩に対する不安も緩和する

無痛分娩

・眼科部長・

杉山 浩司

緑内障に対する

水晶体再建術併用眼内
ドレーン挿入術



紹介患者様の受診方法について

小山記念病院では、地域の医療機関との連携を充実するために地域医療連携室を設置しています。地域医療連携室では、他の医療機関からの紹介患者様の対応、または患者様のお住いの近隣の医療機関への逆紹介を行っています。

当院は、外来患者様が多く、待ち時間が長くなるため、紹介状持参患者様については、特に事前予約をお勧めしています。

医療機関より、下記にご連絡いただければ、
地域医療連携室にて事前予約をお取りします。

「受診予約申込書」と「診療情報提供書」(様式は問いません)を
事前にFAXをお願いいたします。

《地域医療連携室直通 医療機関専用ダイヤル》

TEL.0299-85-1133 FAX.0299-88-2211

予約なしで直接ご来院された際は、状況により当日診察をお受けできず、
翌日以降のご予約をお取りさせていただく場合があります。

紹介状持参患者様 予約取得フロー

- 1 医療機関より地域医療連携室直通ダイヤルに、連絡をお願いします。

受付時間	月曜日～金曜日	9:00～16:00
	土曜日	9:00～11:00

TEL.0299-85-1133 (地域医療連携室直通)
- 2 受診予約申込書と紹介状をFAXで送信してください。
FAX.0299-88-2211 (地域医療連携室直通)
※ FAX受信は24時間受付可能ですが、受付時間外の場合、予約取得は翌営業日の返信となります。
- 3 ・折り返し地域医療連携室より紹介元医療機関へご連絡をいたします。
 ・予約を取得し診療予約票をFAXにて送信します。
(できる限り15分以内にご連絡します)
※診療科によっては、医師の確認が必要なため時間がかかる場合があります。
- 4 予約日に、診察予約票と紹介状原本をご持参いただき、
11番「紹介状窓口」にご来院していただきますよう、
 ご案内をお願いいたします。

各科緊急連絡先

- 緊急の場合は、下記の医療機関専用ダイヤルへご連絡ください。
- ・脳神経外科ホットライン 080-8815-5322 (24時間対応)
 - ・循環器科ホットライン 080-1078-6668 (24時間対応)
 - ・整形外科ホットライン 080-9159-6089 (月～土/8:00～20:00迄) 日・祝を除く
 - ・放射線科 0299-85-1173 (画像検査科直通)*
 - ・上記以外の診療科 0299-85-1133 (地域医療連携室直通)**
- *月～金/9:00～16:00、土/9:00～11:00 日・祝を除く



・産科部長・
酒井 謙

副院長 兼 産科部長
日本産科婦人科学会産婦人科専門医
日本専門医機構認定産婦人科専門医

● 分娩に対する不安も緩和する 無痛分娩

🔗 地域内唯一の産科二次施設

小山記念病院産婦人科は、鹿嶋市宮中で1969年に開院した産婦人科医院をルーツに持ち、小山記念病院の中核部門として、また鹿行地区の産婦人科医療施設の中の二次施設として今日まで活動を行っています。

当院の理念の一つであります「地域医療の充実を図る」をもとに、診療体制の拡充に特に努力しています。2021年10月に筑波大学のご協力により2名の産婦人科医師を派遣していただくこととなり、常勤医7名、非常勤医4名の産婦人科医を確保し、安心して地域でお産ができるように、また婦人科の病気であってもなるべく今お住いの地域で治療を完結できる医療を提供する努力をしております。そして、当院におかりいただいたことをご満足いただけるように医療の

質の向上にも取り組んでおります。

産科部門では年間約500〜600件のお産を担当させていただいています。常勤医とともに助産師約20名の体制で臨んでおります。地域内唯一の産科二次施設として、リスクをお持ちの方が大病院に行くために地域を離れてお産することを強いられることがないよう、可能な限り当院で分娩に臨んでいただける様に努力しております。

🔗 妊娠中から利用できる

助産師外来

妊娠中からご要望に応えることができるように助産師外来として、全三回と必要に応じて随時妊婦さんとお話しさせていただく機会を設けています。助産師もベテランから若手までバランスよく在籍していますので、細か

いご要望に応えることができます。アメニティも充実させるべく病室の内装や食事にも気を遣って定期的にリニューアルしています。

そして2022年より当院麻酔科の協力を得て無痛分娩を開始いたします。妊産婦の方、ご家族の分娩に対する不安の一つである痛みを緩和することにより、安心快適、かつ安全な分娩を経験していただける様に努力いたします。

以上のように地域のための診療に努めております。今後もさらなる改善をもって安心できる医療を提供していきたいと存じます。

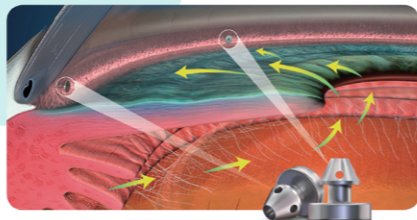


ピックアップドクター

Pick up Dr.



各診療科の医師が専門分野を伝える



「iStent inject W」イメージ図

🔗 意外と多い？ 緑内障

緑内障は失明原因の上位であり、40歳以上の有病率は5%（20人に1人）、70歳以上では10%（10人に1人）以上と非常に多い疾患です。

緑内障の視神経障害および視野障害は基本的に進行性で非可逆であるため、早期発見と早期治療による障害の進行阻止が重要となります。

治療の基本は点眼薬で眼圧を下げるのですが、自覚症状が乏しいため病気に対する理解が得られにくいことや、長期に継続する必要があるため高齢化等に伴って点眼アドヒアランスが低下することが大きな問題となります。

🔗 低侵襲緑内障手術(MIGS)

近年、緑内障に対する新たな低侵襲手術が臨床導入され、当院も施設

🔗 術後の経過

術後は一旦術前に使用していた緑内障点眼はすべて中止し、眼圧や視野障害の経過を診ながら再開を検討していきます。

2〜3種類以上の点眼を併用している患者様も珍しくないので、毎日の点眼を減らすことができるのは大きなメリットです。一旦これまでの治療をリセットして必要な薬剤を見直す機会になるので医療者側にとっても良い面があると考えています。

当院では白内障の手術において、選定療養での多焦点眼内レンズ以外にも、保険診療内での乱視矯正レンズや最新の焦点深度を拡張する高付加価値レンズも採用しています。

視力低下などでお困りの患者様がいらっしゃいましたら、ご紹介いただけますようよろしくお願い申し上げます。

・眼科部長・
杉山 浩司

日本眼科学会眼科専門医
ボトックス認定医
水晶体嚢拡張リング(CTR) 認定医
iStent inject 認定医

● 緑内障に対する水晶体再建術併用眼内ドレーン挿入術